

避難情報

警戒レベルの確認

集中豪雨や台風などによって、水害や土砂災害などの災害が発生するおそれがあるとき、どの情報をもとに、どのタイミングで避難をするべきか?それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生危険度と住民の方々が取るべき行動を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えします。

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)			
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報 (警戒レベル相当情報)			
				浸水の情報 (河川)		土砂災害の情報 (雨)	
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保! ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません! ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保 (市町村が発令)	5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)	
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~				~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難 ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	避難指示 (市町村が発令)	4 相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報	
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ・「高齢者等」は障がいのある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難 (市町村が発令)	3 相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報	
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表)	2 相当	氾濫注意情報	—————	
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁が発表)	1 相当	—————	—————	

※市町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報など(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。  
※内閣府ホームページより一部を抜粋、編集して掲載

### 自主避難について

#### 危険を感じたらすぐ避難しましょう

局地的集中豪雨のような、突発的な異常気象の場合には、市からの避難情報が間に合わないケースもあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、避難所などへ自主的に避難しましょう。



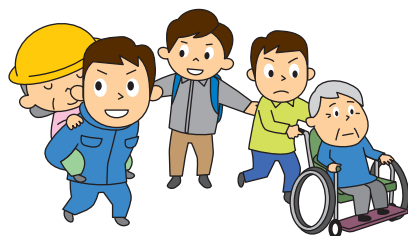
## 避難に関する2つの情報

災害の危険性が高まった場合、市町村は避難に関する情報を発令します。2種類の情報は状況の深刻度に応じて発令しますので、各情報に応じた避難行動をとりましょう。  
※警戒レベル5(緊急安全確保)は、すでに災害が発生している状況です。直ちに命を守るための最善の行動をとってください。

### 警戒レベル3・高齢者等避難

人的被害の発生する危険性が高まった状況。

- 避難するのに時間がかかる高齢者など災害時要配慮者やその支援者は避難を始めます。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持ち出し品の用意など避難の準備を始めます。



### 警戒レベル4・避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況。

- まだ避難していない住民はただちに避難します。
- 万一避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動を取ります。



# 新しい防災気象情報

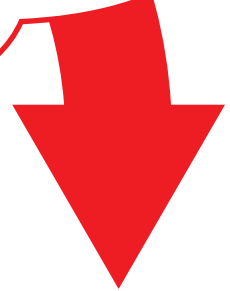
令和8年度 5月下旬(予定)から注意報や警報等の名称が変わります。



## 現行 防災気象情報の情報体系とその名称

警戒レベル相当情報	防災気象情報				
	洪水等に関する情報			土砂災害	高潮害
指定河川 洪水情報 (河川毎)	洪水害 (市町村毎)	大雨浸水害 (市町村毎)			
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (浸水害)		大雨特別警報 (土砂災害)	高潮氾濫発生情報
4相当	氾濫危険情報	—	—	土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3相当	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報 (浸水害)	大雨警報 (土砂災害)	警報に切り替える 可能性が高い 高潮注意報
2相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報		高潮注意報
1相当	早期注意情報				

令和8年度 5月下旬からは  
情報の名称に  
「レベルの数字」が入り、  
とるべき行動が  
分かりやすくなるよ!



## 令和8年度 5月下旬(予定)から 防災気象情報の情報体系とその名称(案)

警戒 レベル	大雨 低地の浸水や 小さな河川の氾濫	氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫	土砂災害 急傾斜地の がけ崩れや土石流	高潮 海水面上昇や 高波による浸水
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
..... <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!> .....				
4	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
3	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
1	早期注意情報			

- 情報名称の最終決定は、法制度などとの関係も踏まえ、気象庁・国土交通省が行う。
- 防災気象情報(大雨、氾濫、土砂災害、高潮)を5段階の警戒レベルに合わせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、レベル4の情報として「危険警報」を新設。
- 情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。(例:レベル4大雨危険警報)
- 情報と対応する防災行動との関係が明確に。

# 避難行動判定フロー

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

平時に  
確認

## あなたがとるべき避難行動は？

必ず取り組みましょう



避難行動判定フロー

防災マップ※1で自宅がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※1 防災マップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。  
(防災マップ P32～)

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※2、立退き避難(安全な場所へ移動)が必要です。

例外

※2 浸水の危険があっても、以下のすべてを満たす場合は屋内安全確保(自宅にとどまり安全を確保することも可能です)。

- ①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
- ②浸水する深さよりも高いところにいる。
- ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、市が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4避難指示が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル4避難指示が出たら、市が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう。

※内閣府ホームページより一部を抜粋、編集して掲載

## あなたがとるべき行動を知ったら

マイ・タイムラインを作りましょう(P5)

# マイ・タイムラインの作成

大雨や台風などの風水害から身を守るためには、自分が住む地域の災害リスクを知り、防災気象情報を基に迅速かつ適切に避難することが重要です。

事前にマイ・タイムラインを作成し、「避難スイッチ」をオンにするタイミングなどを整理しておきましょう。

## マイ・タイムラインとは

災害に対する事前の備えや、大雨・台風により浸水害や洪水、土砂災害などが発生する危険性が高まった時の避難開始のタイミング「避難スイッチ」などを、あらかじめ時系列に整理した【自分自身や家族の避難行動計画】です。



マイ・タイムラインの作成

## 対象災害について

マイ・タイムラインの対象とする災害は、【進行型災害】を基本としています。マイ・タイムラインの作成にあたっては、災害対応時の想定外の事態を減らすため、最悪の状況を含む災害を想定することが大切です。

### 進行型災害

洪水や台風など、発生やその被災状況が一定程度予測できる災害。



### 突発型災害

地震や噴火など、発生の予測が困難な災害。



## マイ・タイムライン作成例

警戒レベルと警戒レベル相当情報 (防災気象情報)					※警戒レベルと警戒レベル相当情報が発令・発表されるタイミングと対象地域は、必ずしも一致しないことに注意	
<b>警戒レベル1</b> 早期注意情報 (気象庁が発表) 今後、気象状況悪化のおそれあり	<b>警戒レベル2</b> 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表) 気象状況が悪化	<b>警戒レベル3</b> 高齢者等避難 (市町村が発令) 災害のおそれあり	<b>警戒レベル4</b> 避難指示 (市町村が発令) 災害のおそれが高まっている	<b>警戒レベル5</b> 緊急安全確保 (市町村が発令) 災害発生または切迫	警戒レベル4までに必ず避難	
—	はん濫注意情報	警戒レベル3相当情報 大雨・洪水警報 はん濫警戒情報	警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 はん濫危険情報 高潮警報	警戒レベル5相当情報 大雨特別警報 はん濫発生情報 高潮はん濫発生情報		
警戒レベルに応じた家族の行動						
災害への心構えを高める	自分や家族の避難行動を確認	もうすぐ避難開始!	高齢者等は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	全員避難完了!	命の危険、直ちに安全確保
<ul style="list-style-type: none"> <li>○天気予報を確認</li> <li>○台風の進路やいつ接近するのかチェック</li> <li>○薬などを事前に受け取っておく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ハザードマップで避難場所を確認</li> <li>○非常持ち出し品の準備</li> <li>○テレビやラジオで気象情報をこまめにチェック</li> </ul>		<b>わが家の避難スイッチ!</b> 警戒レベル3発令後に必ず避難する!!	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難完了</li> <li>○引き続き気象情報を確認</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>⚠ 自宅内の安全な場所へ避難</li> <li>⚠ 2階以上に避難</li> </ul>
日頃から調べておくこと、備えておくこと						
わが家の災害リスク・避難先		非常持ち出し品			情報収集ツール	
<input type="checkbox"/> 浸水する深さ 想定 ( 3 )m <input type="checkbox"/> 近隣河川までの距離 ( 250 )m <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域に入って ( いる ) ( いない ) <input type="checkbox"/> 避難先① ( 叔母さんの家 ) まで、徒歩 ( 車 ) で ( 10 ) 分 避難先② ( 〇〇公民館 ) まで、徒歩 ( 車 ) で ( 7 ) 分 ※自宅が危険な地域ではない場合や、マンションなど頑丈な建物の場合は、屋内待機や垂直避難(建物内の2階以上) <input type="checkbox"/> 避難先までの危険な場所・特徴 ( 避難先①道路が狭い 避難先②長い階段がある、街灯が少ない )		<input checked="" type="checkbox"/> 食料品 <input checked="" type="checkbox"/> 飲料水 <input checked="" type="checkbox"/> 貴重品 <input checked="" type="checkbox"/> 着替え <input checked="" type="checkbox"/> 懐中電灯 <input checked="" type="checkbox"/> 毛布 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 <input type="checkbox"/> 電池 <input checked="" type="checkbox"/> マスク <input checked="" type="checkbox"/> アルコール消毒液 <input checked="" type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 防災ガイドブック ※忘れてませんか? <input checked="" type="checkbox"/> 常備薬 <input checked="" type="checkbox"/> お薬手帳 ↓その他に準備する物も書いておこう! 紙オムツ      生理用品      ドッグフード ビニール手袋      タオル      ウェットティッシュ			<input checked="" type="checkbox"/> おおいた防災アプリ <input checked="" type="checkbox"/> 県民安全・安心メール / 市町村防災メール <input checked="" type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> 防災ラジオ <input checked="" type="checkbox"/> 大分地方気象台HP <input checked="" type="checkbox"/> おおいた防災ポータル <input type="checkbox"/>	

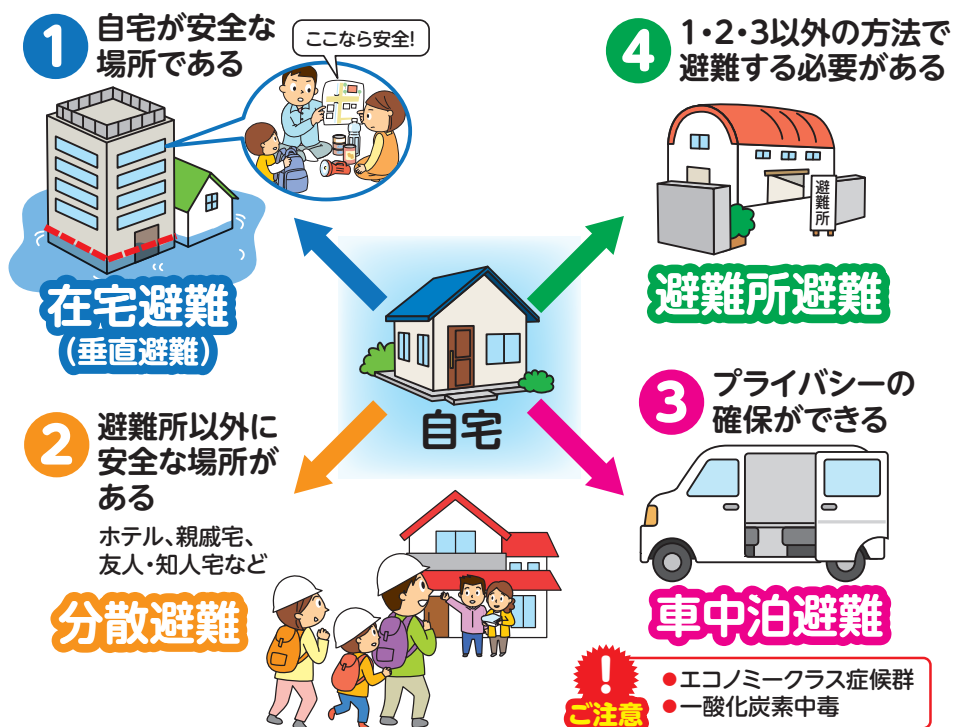
大分県のホームページから要配慮者向け、地区(自主防災組織)向けのタイムライン作成様式も確認ができます。  
いざというときに、慌てずに適切な行動ができるよう、みんなで話し合って作成してください!



### 避難先の検討

自然災害が発生した場合に、感染症などが流行している状況では、不特定多数の人が集まる指定避難所などでの避難生活の感染拡大リスクが高まります。そこで、災害が発生したとき感染症による2次被害を防ぐため、また、風水害時に高齢者等が事前に避難する必要がある場合(注1)など、避難所に避難する以外の方法(分散避難)もご検討ください。具体的には右記のような方法が考えられます。

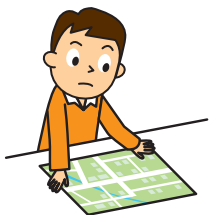
注1: 事前避難が必要な場合…警戒レベル3相当以上の気象状況(避難指示、高齢者等避難相当)



### 安全に避難するために

#### ▶ 事前に準備を

普段から避難所までの安全な経路などを確認しておきましょう。



#### ▶ 隣近所で声をかけ合って

避難は2人以上でしましょう。隣近所を誘って集団で避難しましょう。



#### ▶ 避難所では気象情報に注意を

避難所では相互に協力を。被害の状況や今後の気象状況を確認しましょう。



#### ▶ 持ち物は最小限に

荷物は背負い、両手が使えるようにしましょう。



#### ▶ 車は使わない

車は数十センチの浸水で浮いてしまいます。他の避難者や緊急車両の妨げにもなり、自分も危険です。



#### ▶ 深さに注意

歩行可能な水深は約50センチ。水の流れが速い場合は20センチ程度でも危険になります。



#### ▶ 動きやすく安全な服装で

ヘルメットで頭部を保護しましょう。靴はひもでしっかりしめられる運動靴にしましょう。



#### ▶ マンホールや側溝に注意を

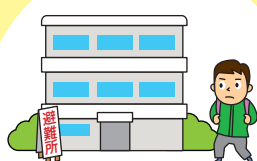
急激な大雨が下水管に流れ込み管内の圧力が上昇して、マンホールのふたが開いてしまう場合があります。浸水が進むなか、マンホールや側溝にはまってしまうと大変危険です。



### 命を守る最低限の行動とは = 垂直避難

危険な状況のなかでの避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、指定された避難所への移動(①水平避難)だけでなく、命を守る最低限の行動(②垂直避難)が必要な場合もあります。

浸水による建物倒壊の危険がないと判断される場合には、自宅や近隣建物の2階以上へ緊急的に避難し、救助を待つことも検討してください。



① 水平避難



② 垂直避難

#### 例えば

下記の場合、屋外への移動は危険です。

- 夜間や急激な降雨で避難経路上の危険箇所がわかりにくい。
- ひざ上まで浸水している(50センチ以上)。
- 浸水は20センチ程度だが、水の流れる速度が速い。
- 浸水は10センチ程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある。
- 津波が迫っていて、安全な高台に避難できない。

# 非常持ち出し品

## 準備しておきたい非常持ち出し品

非常持ち出し品は家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難時にすぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。災害発生時に最初に持ち出す非常持ち出し品と、災害から復旧するまでの数日間を支える非常備蓄品を分けて用意しておきましょう。

### 非常持ち出し品

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

#### あらゆる家庭に共通して必要なもの

**POINT!!**

自分が使うもの(食料、防寒具、薬など)を持って避難しましょう。

##### 携帯ラジオ

- ラジオ
- 電池(多めに用意)



##### 救急医療品

- 常備薬
- 傷薬
- 風邪薬
- 鎮痛剤
- 包帯
- 絆創膏
- 胃腸薬



##### 貴重品

- 現金、10円玉
- 印鑑
- 預金通帳
- マイナンバーカード
- 免許証
- 権利証書



##### 懐中電灯

- 懐中電灯(できれば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)



##### 非常食品等

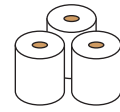
火を通さなくて食べられるもの、食器など

- 非常用食品
- 缶詰
- 紙皿
- 紙コップ
- 水筒
- 缶詰
- 栓抜き
- ミネラルウォーター



##### 生活用品

- マスク
- 除菌用品(感染症対策用)
- タオル・ハンカチ
- ティッシュペーパー
- トイレtpペーパー
- ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- 防災ガイドブック(本冊)
- 使い捨てカイロ



- 万能ナイフ・ハサミ
- ライター
- 筆記用具
- ゴミ袋



#### 家族構成や家族の事情にあわせて必要なもの

**CHECK!!**

自分にとっては絶対必要!というものを準備しましょう。

##### 女性向け用品

- 生理用品
- 化粧品
- 女性用下着
- 鏡・ブラシ等



##### 乳幼児向け用品

- 母子手帳
- ミルク・離乳食
- おむつ
- おしりふき



##### 子ども向け用品

- おもちゃ
- おやつ
- 防犯ブザー



##### 高齢者向け用品

- 介護用品
- 入れ歯・洗浄剤
- 持病薬・補装具
- めがね



### 非常備蓄品

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック☑しましょう。

##### 飲料水

- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水した防災タンクなど



##### 非常食品

- お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・飴(菓子類など)



##### 燃料

- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料



##### その他

- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など



### 感染症対策のために ~非常用持ち出し袋に追加すべき物~

非常食や飲料水などだけでなく、感染を予防するため、こうした持ち物も事前に非常用持ち出し袋に入れておくようにしましょう。

- マスク
- ウェットティッシュ
- 記録用ノート
- 石鹸・ハンドソープ
- 手指消毒用アルコール
- 筆記用具
- 体温計
- 家庭での常備薬
- ビニール袋(大小)

※非常用持ち出し袋は、家族全員がわかる場所に保管しましょう。



非常持ち出し品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はまめにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

